

慈明院寺報十月号

白い象

彼岸も過ぎて秋らしくなってきた。十一月、慈明院の開山記念日である十一月三日に、象頭の神仏・聖天様の法会を一年の締めくくりとして行う。象は仏教における「力の象徴」とされる動物で、様々な法話がある。

時々白い象が発見される事がある。これはアルビノと呼ばれる現象で、先天的にメラニン色素が欠乏しているものである。仏教において力の象徴である象は、仏画などにも画かれる。とりわけ普賢菩薩は、白い象に乗るお姿で画かれている事が多い。

ところが英語で「white elephant（ホワイトエレファント・白い象）」といえ、――厄介物・持て余し物――という意味である。なぜそのような意味になるのか？

インドやスリランカ、タイ等において象は神聖な動物である。特に白い象は「神の使い」として、王様に献上され宮殿で大事に飼育される。この白象を王様が家来に意地悪で下賜するのである。神の使いである白象は、普通の象のように、移動手段や働かせる獣として使えない。家来は使い勝手のない白象を泣く泣く飼育する訳である。かくて白い象が「厄介物」「持て余し物」となるのである。

私達は見栄や欲望から、白い象をもらってはいないだろうか？本当に自分に「必要なもの」と「欲しいもの」は違う。このふたつを区別する事によって賢くなれるよと、白象に乗った普賢菩薩はおっしゃるかもしれない。

住職 合掌

塔婆供養成満の御礼

去る九月二十三日（秋分の日）、当院本堂におきまして塔婆供養をお勤めさせて頂きました。塔婆供養の申し込みを頂きました皆様に篤く御礼申し上げます。またコロナ対策のマスク着用で参拝下さった皆様、誠に有難うございました。ご供養させて頂いた塔婆は、納骨堂横の『供養堂』で来年のお施餓鬼まで約一年間、安置奉納致します。どうぞご来寺の際はお参り下さいませ。 合掌

聖天様 断ち物祈願法会のご案内

来る 令和四年 十一月三日（木曜日）文化の日

午前十一時より

『聖天堂』（丸い円形の御堂）に鎮座している大聖歓喜天（通称・聖天様）をお祀りする法会です。住職が風呂敷護摩というご祈願を行い、今年最後の厄祓い、慈明院の締めくくりの法会です。どなたでもご参拝できます。どうぞお参り下さいませ。（昼食と聖天様の好物・大根をお接待致します）



慈明院

〒八一一一三 福岡市早良区大字西二三四一（二〇）

TEL (〇九二) 八〇四四四七〇 FAX (〇九二) 八〇四四六〇五

住職・吉住大慈 携帯電話〇九〇―(五二八一)―七四九四